

トレムセン大学への「Read Japan Project」図書寄贈式典

12月17日(月)

12月17日、トレムセン大学にて「Read Japan Project 2022」によって図書の寄贈式典を行いました。式典では石田参事官から学長のメガシュ・ムラド氏へ、84冊の図書の引渡しを行いました。学長からは「寄贈された書籍は、学術振興に大いに役立ち、アルジェリアと日本の強固な友好関係と文化交流の証である」と感謝の意が述べられました。本プロジェクトは、世界における日本理解の促進を目的として公益財団法人日本財団によって行われ、日本の歴史や文化など、様々な分野の英語書籍を世界中の大学・図書館などの団体に寄贈するものです。



アルジェリア合気道連盟に対する草の根文化無償資金協力供与式

12月14日(木)

12月14日、アルジェ市カスバにある道場にてアルジェリア合気道連盟に対する草の根文化無償資金協力供与式が行われました。本式典には河野大使とアルジェリア合気道連盟会長のナセル・ルイバ氏が出席し、剣道用具と畳が供与されました。ルイバ氏からは「今回の日本政府からの資金協力に大変ありがたく思っている。供与された道具を大切に使いながら、次の世代を担う若者の育成に励んでいきたい。」と感謝の言葉が述べられました。



河野大使のアンナバ県訪問

11月20日(月)

11月20日、アンナバ県出張中の河野大使は、市内にある聖アウグスティヌス大聖堂 (Basilique Saint-Augustin) 及び国立博物館 (Musée national d' Hippone) を視察しました。

地中海沿いに位置するアンナバ県はアルジェリアの大都市の一つであり、先史時代からの遺跡が多く残る街として知られています



河野大使のアンナバ県知事表敬訪問

11月20日(月)

11月20日、アンナバ出張中の河野大使は、アンナバ県知事のアブデルカデル・ジャラウイ氏を表敬訪問しました。河野大使は、アンナバ大学と筑波大学との大学間交流協定の締結について述べ、工業都市として発展し現在は学生都市や観光地としての面も持つアンナバ県の特徴や今後の日アルジェリア間の様々な分野における協力関係についてジャラウイ知事と意見交換を行いました。



河野大使のアンナバ大学学長訪問

11月19日(日)

11月19日、アンナバ大学(Université Badji Mokhtar-Annaba)と筑波大学の大学間交流協定が本年8月に締結されたことを踏まえ、河野大使は同大学のモハメッド・マナー同大学学長を表敬訪問し、日アルジェリア間の学術交流の展望につき意見交換を行いました。同協定により、両大学の交換留学生の相互受入が可能となり、また教員間の共同研究がより活発になることが期待されます。



第 5 回日本語コンクールの開催

11 月 11 日(土)

11 月 11 日、JT インターナショナルの協賛を得て、ホテル Sofitel において第 5 回日本語コンクールを開催いたしました。事前選考を通過した 11 名が谷川俊太郎の「朝のリレー」の暗唱を行い、また 7 名が見事なスピーチを行いました。スピーチ部門については、「私が尊敬する人」「私の生まれた町」「私の好きな言葉」からテーマを各自選択しました。中には独学で日本語を学んだ参加者も見受けられ、非常に高いレベルでのコンテストとなりました。各部門上位 3 名へ、河野大使から賞状が授与されました。素晴らしい大会を経て、参加者は日本語学習へのより一層の意欲を見せていました。

当日の様子をまとめた動画はこちら：

<https://youtu.be/Z4SboTsREvg?si=100im4XA80ipwiCM>



フェンシングサーブル・ワールドカップ開催に際しナショナルチームへの激励会

11月6日(月)

アルジェにて11月9日から12日に行われるフェンシングサーブル・ワールドカップ大会に向けて、河野大使はアルジェに到着された日本選手団を公邸にお招きし、激励会を開催しました。本大会は2024年パリ五輪出場に向けたポイント獲得のための重要な試合であり、在アルジェリア大使館一同、日本選手団のご活躍をお祈りしています。



令和5年秋の外国人叙勲受章者の発表

11月3日(金)

11月3日、日本政府はアルジェリアのアブデルカデル・ブアザラ氏を含む令和5年秋の叙勲受章者を発表しました。旭日中綬章を受章したブアザラ氏は、アルジェリアの国立高等音楽院長及び国際交響楽フェスティバル実行委員長であり、音楽分野における日・アルジェリアの学術交流及び相互理解の促進に貢献しました。

ムルード・ラトレシュ氏への叙勲伝達式

10月29日(日)

10月17日、河野大使は、公益社団法人日本空手協会アルジェリア支部会長であるムルード・ラトレシュ氏の叙勲伝達式を大使公邸で開催しました。国際躍進松濤館空手道(DSKI)認定8段を持つラトレシュ氏は、アルジェリアにおける空手の普及及び空手を通じた日本・アルジェリア間の友好親善に寄与したことから、日本からの高い評価及び感謝の証として、旭日単光章が贈られました。伝達式では、ラトレシュ氏の教え子たちによる空手の型のデモンストレーションも行われました。



第 15 回アルジェ国際マンガフェスティバル(FIBDA)への参加

10 月 15 日(日)

2023 年 10 月 4 日から 8 日にかけて、第 15 回アルジェ国際マンガフェスティバル(FIBDA)が開催されました。この機会に、日本のポップカルチャー文化紹介のためアニメ映画監督・脚本家である片渕須直氏に当国へお越しいただきました。

10 月 5 日、片渕監督は、テレビ局 Canal Algérie やラジオ局 Radio Algérie Internationale でインタビューを受け、自身の作品やキャリア、日本のアニメーションについて発信いただきました。その後、高等舞台芸術・視聴覚芸術学院(ISMAS)ではアニメ制作過程についてのマスタークラスを開催し、学生との活発な質疑応答が行われました。

10 月 6 日、FIBDA では、日本のみならず世界で成功を収めた監督の 2 作品『アリーテ姫』及び『この世界の片隅に』の上映を行いました。さらに、史実に忠実に基づいた自身のアニメ制作過程について講演いただきました。片渕監督をはじめ今回の一連のイベントの開催に関わってくださった方々へ感謝申し上げるとともに、アニメやマンガを通じて今後も日本・アルジェリア両国の友好関係がより深化することを願っております。

テレビインタビュー(Bonjour d'Algérie)は[こちら](#)

ラジオインタビュー(Au coeur de l'art)は[こちら](#)



大学推薦の国費留学生の出発

8月30日(水)

8月30日、石田参事官は、9月にアルジェリアから日本へ出発する国費留学生2名と壮行のための昼食会を行いました。参事官から学生へ、日本での日々がそれぞれの人生にとって最も充実した素晴らしい期間となることを祈るとの激励の言葉が贈られました。学生たちは、これからの専攻分野について話し、日本での生活に期待に胸を膨らませました。



ナセル・ルイバ氏への叙勲伝達式

6月19日(月)

6月19日、河野大使はナセル・ルイバ氏(アルジェリア合気道連盟会長)の叙勲伝達式を大使公邸にて開催しました。ルイバ氏は、合気道関連団体の設立を始め、アルジェリア各地での講習会の実施、国外で実施される講習会への団体での参加等を通じて、アルジェリアにおける合気道及び日本文化を体現するその精神的側面の普及に多大な貢献を果たしたところ、日本からの高い評価及び感謝の証として、旭日双光章が贈られました。



コンスタンティーヌ大学への日本語学習教材の寄贈

6月12日(月)

6月12日、国際交流基金による日本研究機関図書寄贈プロジェクトの枠組みで、コンスタンティーヌ第1大学にて日本語学習教材の寄贈が実施されました。イフルフ副学長からは寄贈への謝意が表明された他、同学における日本との文化協力の強化についての意見交換が行われました。同席したセビヒ言語集中学習センター所長及び元国費留学生のブベクリ・コンスタンティーヌ大学教授とは、寄贈図書の活用方法についての意見交換を行いました。



サリマ・スアクリ・ツィリ氏への叙勲伝達式

4月27日(木)

4月27日、河野大使はサリマ・スアクリ氏(元青年スポーツ省エリートスポーツ担当国務長官・現国際柔道連盟ジェンダー平等委員会会員及び執行委員)への叙勲伝達式を大使公邸にて開催しました。今回、アルジェリア人として初の女性の受章者であり、また最年少の受章者となったスアクリ氏に対して、その柔道家としてのスポーツに関する活動を通じ、日本とアルジェリアの関係強化に貢献したこと、またアルジェリア及び世界中での女性活躍の推進に貢献したことにつき、日本からの高い評価及び感謝の証として、旭日小綬章が贈られました。





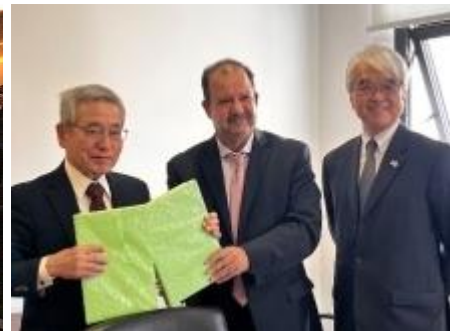
私市正年上智大学名誉教授による講演会の開催

4月13日(木)

5月15日、日本大使館とアルジェ第2大学及び外務省研修所(IDRI)の共催により、私市正年上智大学名誉教授による講演会「アルジェリアと日本の深い歴史的関係、そして私のアルジェリア史研究—アルジェリアにおけるスーフィー教団とザーウィヤの反植民地主義と政治的志向」が実施されました。2つの講演会では、独立以前に遡る二国間関係の歴史が紹介された他、アルジェリアの歴史に関する長年にわたる日本人による研究の紹介、また私市先生ご自身の研究に関する説明が行われ、最後には活発な質疑応答も行われました。



アルジェ第2大学の講演では、ブーマイザ・アルジェ第2大学学長及びアルジェリア史を専門とするアウイムール・アルジェ第2大学教授に参加いただいた他、多くの学生、研究者、また日本に関心を持つ一般の方々にお越し頂き、両国の歴史研究に関する議論が行われました。



外務省研修所の講演では、新入省員を中心として多くの省員の出席を得て、日本とアルジェリアの関係の歴史と、これからの関係についての活発な質疑応答が行われました。

私市教授は、長年にわたるアルジェリア研究と二国間友好関係増進への貢献により、令和5年春に瑞宝小綬章を授与されています。私市教授は日本アルジェリア協会の理事でもあり、精力的に二国間関係の増進に取り組まれています。

アルジェリア人アニメ映画監督の新潟国際アニメーション映画祭における入賞

4月13日(木)

13日、アルジェリアのアニメ映画監督のヴィノムさん、D-Clik社プロデューサーのモホヌさん、及びアシスタントのメハディさんが当館を訪れ、3月に行われた新潟国際アニメーション映画祭での『カムサ - 忘却の井戸』の受賞報告を行いました。今回受賞された傾奇(かぶく)賞は、審査委員長の押井守監督が新しく創設した賞で、従来の価値観に捉われず、斬新で新しいものに挑戦し、創造していく作品に与えられるものです。

映画予告編: <https://www.youtube.com/watch?v=tMBXpcw1Sks>

新潟国際アニメーション映画祭: <https://niigata-iaff.net/news/2023/03/27/800/>



サッカーU17 日本代表のアルジェリア訪問

3月29日(水)

19-29日、サッカーU17 日本代表チームは、アルジェリアサッカー連盟主催の国際親善試合に参加するため、アルジェリアを訪問しました。代表チームは、マリ、アルジェリア、そしてコモロの代表チームと試合を行い、結果は2勝1分で見事優勝を果たしました。在アルジェリア日本大使館一同、素晴らしい試合を戦った各国代表の健闘を称えとともに、次期 AFC U17 アジアカップ及びアフリカ U17 ネ이션ズカップでのそれぞれの活躍を祈ります。代表チームの訪問に際して、河野大使は、ネルソン・マンデラ・スタジアムにて行われた日・アルジェリア戦を観戦し、代表チームを公邸に招いて激励を行いました。

JFA 遠征ニュース:

http://jfa.jp/national_team/u17_2023/20230322/



ムルード・ラトレシュ氏への外務大臣表彰式の開催

3月20日(月)

3月20日、河野大使は公益社団法人日本空手協会アルジェリア支部長のムルード・ラトレシュ氏に対する令和4年度外務大臣表彰の表彰式を大使公邸にて開催しました。ラトレシュ氏は空手道八段で、日本空手協会アルジェリア支部長を務める他、アフリカ空手技術委員会委員も務める国際的な空手家であり、長期間に亘ってアルジェリア人空手家の育成と指導に尽力していることから、日本とアルジェリアのスポーツ交流及び相互理解の促進への多大な貢献を称え、今回の表彰が決定しました。

河野大使は祝辞の中で、同氏の継続的な尽力の感謝の意を述べ、今回の表彰を祝福しました。



2023 年度国費留学生壮行会

3月16日(木)

3月16日、河野大使は2023年度日本政府(文科省)奨学金の対象者である6名のアルジェリア人を招いた壮行会を実施しました。壮行会では、河野大使から留学生へお祝いと激励の言葉が述べられました。本年の4月または9月に日本へ出発する新しい国費留学生たちからは今後の勉強における抱負及び日本への感謝が述べられました。





アルジェリア人アニメ映画監督の新潟国際アニメーション映画祭への参加

3月13日(月)

アルジェリア映画「カムサ - 忘却の井戸」の新潟国際アニメーション映画祭ノミネートに際して、13日、河野大使は、監督のハレド・シヘブさん(監督名: ヴィノム)、プロデューサーのカマル・ムホヌさん、そしてアシスタントのケンザ・メハジさんを公邸に招きました。河野大使からは、映画祭参加のため日本に出発するシヘブさん及びメハディさんに対して、日本滞在が充実したものとなり、これがアルジェリアのアニメが日本で知られるきっかけとなることを願う旨の言葉が贈られました。

新潟国際アニメーション映画祭の関連ページ:

<https://niigata-iaff.net/programs/khamsa-the-well-of-oblivion/>



第14回アルジェ国際マンガフェスティバル(FIBDA)現地レポート

3月6日(月)

昨年10月にアルジェにて開催された第14回アルジェ国際マンガフェスティバルに関して、実際に参加され、講演及びワークショップを実施された京都精華大学のユー・スギョンさん

が、アルジェ国際マンガフェスティバルの全貌を伝える現地レポートを発表されました。現地の雰囲気を伝える貴重なレポートを是非ご覧下さい。

<https://macc.bunka.go.jp/987/>